

# 鷓川むかわ町水害タイムライン 第4回検討会(検証訓練)

平成31年2月15日(金)にむかわ町穂別町民センター多目的ホールにおいて、「鷓川むかわ町水害タイムライン 第4回検討会」を開催しました。タイムラインは、鷓川で風水害が発生する可能性がある際に、早い段階から関係機関が連携して地域住民及び防災対応者の安全確保を図るための事前防災行動計画です。平成30年度最後となる今回は鷓川下流域での氾濫発生を想定し、実際に策定した「鷓川むかわ町水害タイムライン訓練用試行版」を使っての検証訓練を行いました。この結果をもとに改善点を反映し、「鷓川むかわ町水害タイムライン試行版」を年度内に策定、次年度出水期からの試行運用を予定しています。



【実施日時】 平成31年2月15日(月) 13:00~16:00

【実施場所】 むかわ町穂別町民センター 多目的ホール

【参加者】 むかわ町・防災関係機関 44名  
(座長・アドバイザー・事務局等含む)

## 1. 開会

開会に際し、黒木座長より挨拶がありました。「昨年の大きな地震の影響でむかわ町でも大変なご苦労をされ、改めて災害に対する事前の準備の重要性を痛感されたかと思う。今回の検証訓練は水害対応であり発災までに対応できる時間がある。実際に近い形での訓練により今まで作ってきたものが役に立つのかの検証をし、これで終わりではなく今後も更なる改良やチェックを重ねていってほしい。」とお話しされました。



黒木座長

## 2. 情報提供

室蘭開発建設部 旭上席治水専門官より「鷓川水位観測所の基準水位見直しについて」の情報提供がありました。「平成18年度に決められた基準から10年以上が経過し、河川の安全性が確保されてきたため、避難判断水位と氾濫危険水位の基準を引き上げた。それに伴い意思決定の内容も変更され避難のタイミングが少し遅くなった。このことを踏まえ、今回の検証訓練で実際にどのくらいの時間が必要なのかを検証し整理したい。」とお話しされました。



旭上席治水専門官

## 3. 検証訓練

事務局の進行により検証訓練が行われました。訓練シナリオに沿って、災害対策本部の決定のタイミングやその周知先、インターネットで得られる情報内容やどのタイミングでどの関係機関からどんな連絡がくるかなど、実際の場面で直面する様々な対応を想定し、タイムラインステージ3~6に重点を置いて検証しました。各関係機関は、それぞれどのような対応していくかを検証チェックシートに細かく記載し、改善が必要な点などを洗い出しました。



検証訓練風景

## 4. 全体講評・閉会

検証訓練終了後に志田アドバイザー、黒木座長から講評を頂きました。志田アドバイザーは「最大の目的は犠牲者ゼロ。そのために本気になって取り組むこと。得た情報を自分のものとして読み解き、判断をすること。また、今回の訓練で行った対応について不明な点や気になった部分については納得できるまで聞いて理解しておくことが大事である。」とお話しされました。黒木座長からは「今回の訓練は夜中にかけての想定であったが、災害はいつ起こるかかわらないということを常に忘れてはならない。直轄河川以外の河川や土砂災害に対する対応についても今後考慮していくべき課題がある。今後は策定したタイムラインのブラッシュアップや町内会レベルでの住民タイムラインの検討なども進めていくべき重要な案件である。」とお話しされました。

最後に、むかわ町 竹中町長より閉会の挨拶がありました。「訓練を通して見えてきた課題を反映しタイムライン試行版の運営に繋げていく他、地震のような突発的な災害に備える計画も考える必要がある。昨年の地震による被害はまだ続いており、関係機関の皆様から様々な支援や助言を頂きながら、厚真町・安平町と共に前進していきたい。」とお話しされ、第4回検討会は終了となりました。



志田アドバイザー



竹中むかわ町長